

しょうがいふく しけいかく だい き へぐりちょうしょうがいじふく しけいかく
障 害福祉計画・第1期平群町障害児福祉計画

わかりやすい版

だい じ へぐりちようしょうがいしゃけいかく だい き へぐりちようしょうがいふく けいかく
第4次 平群町 障害者 計画 ・ 第5期 平群町 障害 福祉 計画 ・

だい き へぐりちようしょうがいふく けいかく ひとり おお
第1期 平群町 障害児 福祉 計画 を 一人でも 多くのみなさまに

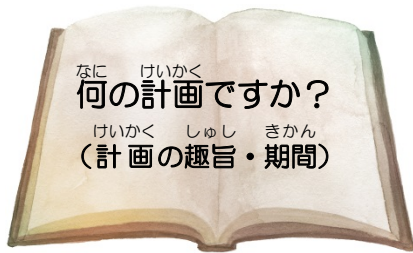
わかりやすくお 伝 えるために 作 ったパンフレットです。

詳しい内容は、平群町役場福祉課にお越しいただくか、
平群町のホームページで見ていただくことができます。



わかりやすい版は、^{ばん}次のことを^{つぎ}考^{かんが}えて^{さくせい}作成しています。

- ・障^{しょう}害^{がい}の害^{がい}は、国^{くに}の考^{かん}え方^がに基^{もと}づいて、漢^{かん}字^じであらわしています。
- ・元^{げん}号^{ごう}は、平^{へい}成^{せい}29年^{ねん}度^ど現^{げん}在^{ざい}のものです。
- 点^{てん}字^じ版^{ばん}、音^{おん}訳^{やく}版^{ばん}のわ^わか^かり^りや^やす^すい^い版^{ばん}を^をご^ご希^き望^{ぼう}の方^{かた}は、平^へ群^{ぐん}町^{ちょう}役^{やく}場^{ばう}福^ふ祉^く課^{しか}へ^へご^ご連^{れん}絡^{らく}く^く
だ^ださい^{さい}。

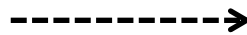


なに けいかく
何の計画ですか？
けいかく しゅし きかん
(計画の趣旨・期間)

だい じ へぐりちょうしょうがいしゃけいかく だい き へぐりちょうしょうがいふく
第4次平群町障害者計画、第5期平群町障害福
祉計画、第1期平群町障害児福祉計画の 3 つの計画
は、関係しあっているので、1 つにまとめました。



だい じ へぐりちょうしょうがいしゃけいかく 第4次平群町障害者計画



2 ページへ

しょうがい ひと く
障害のある人が暮らしやすいように、
へいせい ねんど へいせい ねんど あいだ
平成30年度から平成35年度までの間
に平群町が取り組むことの考え方を書
いた計画



だい き へぐりちょうしょうがいふく しけいかく 第5期平群町障害福祉計画



5 ページへ

しょうがい ひと ふくし
障害のある人が福祉のサービスを
へいせい ねんど へいせい ねんど あいだ
平成30年度から平成32年度までの間
に、どれくらい利用するかを予想し、そ
れを実現するために平群町が取り組む
ことを書いた計画

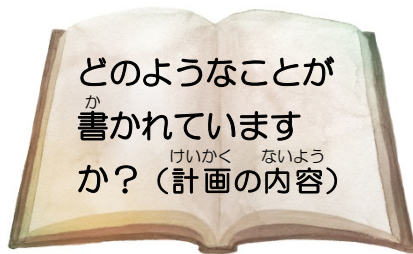


だい き へぐりちょうしょうがいじふく しけいかく 第1期平群町障害児福祉計画



6 ページへ

しょうがい こども へいせい ねんど
障害のある子どもが平成30年度から
へいせい ねんど あいだ ふくし
平成32年度までの間に福祉のサービス
をどれくらい利用するかを予想し、それを
実現するために平群町が取り組むことを
書いた計画



どのようなことが
か
書かれています
か？（計画の内容）



だい じ へぐりちょうしょうがいしゃけいかく 第4次平群町障害者計画



1「一人ひとりが主体となって、
みんなで支え合う地域をめざす」ために、次のようなことをします。

しょうがい ひと けんり
障害のある人の権利
まも しょうけん
を守るための支援

- しょうがい とくせい しょうがい ひと りかい ひろ
・ 障害の特性や障害のある人への理解を広めます。
- しょうがい りゆう さべつ ぎゃくたい
・ 障害を理由とした差別や虐待をなくしていきます。

しょうがい ひと そうだん
障害のある人が相談
う
を受けやすくするた
めの支援

- じぶん はんだん かね かんり てつづ ひと
・ 自分で判断してお金の管理や手続きをすることが難しい人
が利用できる仕組みについての情報を広めます。

しょうがい ひと しょうだい
障害のある人の状態にあわせて、いろいろな情報を伝え
ていきます。

- しょうがい ひと そうだん
・ 障害のある人がいろいろな相談ができるような仕組みをつ
くります。

しょうがい ひと
障害のある人とな
ひと ささ あ
い人が支え合うための
しょうけん
支援

- みんせいいいん しょうけんしゃ きょうりよく しょうがい ひと しょうけん
・ 民生委員や支援者と協力しながら障害のある人を支援
します。

- しょうがい ひと だんたい はなし きかい
・ 障害のある人の団体と話をする機会をもちます。

- しょうがい ひと かぞく しょうけん
・ 障害のある人の家族を支援します。

しょうがい ひと あんぜん
障害のある人が安全、
あんしん く
安心して暮らすための
しょうけん
支援

- さいがい はっせい とき あんぜん あんしん ひなん
・ 災害が発生した時に、安全に安心して避難できるようにし
ます。

- はんざい ま こ しょうほう つた そうだん
・ 犯罪に巻き込まれないように、情報を伝えたり、相談がで
きるようにします。

2 「いつも安心できる生活環境と

支援の体制（仕組み）をつくる」ために、次のようなことをします。

障害があることで困
らないような支援

- 役場などの平群町の施設をみんなが使いやすいようにします。
- 障害があることで話すことや聞くことが難しい時に、支援できる人を増やします。
- 障害がある女性の妊娠、出産、子育ての支援をします。

障害のある人が健康
に暮らすための支援

- 障害のもとになる病気やけがを防ぐことができるような取り組みをします。
- 障害のある人の病入院の治療費や薬代による負担が大きくならないように支援します。

障害のある人が生活
するための支援

- 障害のある人が暮らしやすいように、いろいろなサービスが受けられるようにします。
- 障害年金や手当などの生活のために必要な仕組みについての情報を広めます。

障害のある人が働い
たり趣味の活動をする
ための支援

- 障害のある人が働くことができるよう、いろいろな支援をします。
- 趣味の活動やスポーツができるような支援をします。

障害のある人の生活
する場所を良くするた
めの支援

- 障害のある人が暮らしやすい家になるように支援します。
- 家族がいなくなった後も障害のある人ができるだけ住みなれた地域で暮らすことができるような仕組みをつくりま

3 「いつまでも地域で暮らせる途切れのない 支援の仕組みをつくる」ために、次のようなことをします。

う
生まれてから しょうがっこう
にゅうがく
入学するまでの支援

- びょうき、しょうがい、そうき、はっけん、ひつよう、しえん、おこな
病気や障害を早期に発見し、必要な支援を行います。
- しょうがい、こ、はったつ、しえん、おこな
障害のある子の発達の支援を行います。
- しょうがい、こ、こせい、たいせつ、しょうがい、こ、いっしょ
障害のある子の個性を大切にしながら、障害のない子と一緒に
そだ
育てていけるようにします。

しょうがっこうにゅうがく、しゃかい
小学校入学から社会
じん
人になるまでの支援

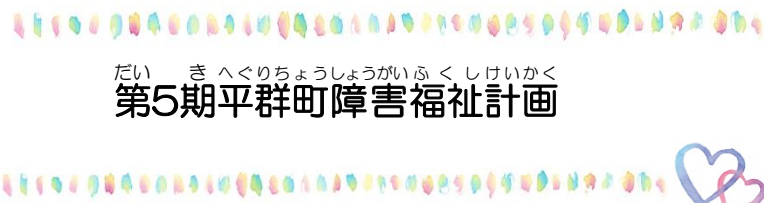
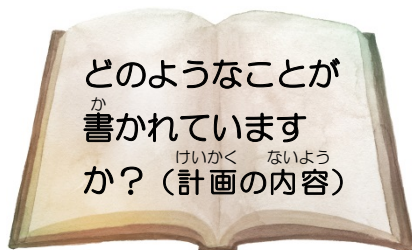
- しょうがい、こ、はったつ、しえん、おこな
障害のある子の発達の支援を行います。
- しょうがい、こ、ふ、しょうがい、こ、いっしょ
障害のある子のできることを増やし、障害のない子と一緒に
そだ
育てていけるようにします。

しゃかいじん
社会人になってからの
しえん
支援

- しょうがい、のこす、びょうき、ふせ、びょうき、びょうき
障害を残すような病気のうち、防ぐことができる病気は、病気
にならないようなとりくみをすすめます。
- じ、こ、びょうき、しょうがい、いま
事故や病気により、障害をもったことで、今までできていた
ひと、しえん
ことができなくなった人の支援をします。

こうれいしゃ
高齢者になってからの
しえん
支援

- しょうがい、こうれい、ひと、しょうがい、じょうたい、おも
障害をもちながら高齢になった人の障害の状況が重くなら
ないようなとりくみをすすめます。
- かいごほけん、りよう、しえん
介護保険のサービスがスムーズに利用できるように支援します。
- こうれいしゃ、おや、しょうがい、ひと、せわ、かてい
高齢者の親が障害のある人のお世話をされている家庭につい
ては、かぞくぜんたい、しえん
ては、家族全体を支援します。



もくひょう ないよう 目標の内容	いま ようす 今の様子	もくひょう 目標
にゅうしょ しせつ ちいき もど ひと かず 入所した施設から地域に戻った人の数	0人	1人
ふくし じぎょうしょ はたら ひと いっぱん しょくば 福祉の事業所で働いていた人が一般の職場で働く人の数	0人	1人
いっばん しょくば をめざす ため サービスを りよう する ひと 一般の職場をめざすためのサービスを利用する人の数	5人	6人
せいしんしょうがい ひと ちいき でくらしやすいように、 色々な しえん を受けられるような仕組み	なし	つくります
しょうがい ひと ちいき でくらしやすいように、色々 な しえん を受けられるような仕組み	なし	つくります

ホームヘルプ

家にヘルパーさんが来て、食事や買い物などの身の回りのことをお手伝いします。

ショートステイ

家族が一時的に用がある時などに、家から離れて暮らします。

生活介護

日中に活動する場に通います。

暮らしを支える障害福祉サービスが受けられるように取り組みます（例）



グループホーム

支援を受けながら少人数で一緒に暮らします。

移動支援・行動 援護・同行援護

趣味の活動などで外出する時の支援をします

相談支援

障害福祉サービスを使う時や困った時の相談を受けます。

- サービスの内容についての情報を広めます。
- 利用できる施設を増やしてほしいということを事業所に伝えていきます。
- サービスを行う事業所とスムーズに連絡できるようにします。
- 障害のある人への理解が深まるような取り組みを進めます。

声の広報

障害により、見ることで情報を得ることが難しい人にCDに録音した町の広報紙を配布します。

朗読奉仕員

障害により、見ることで情報を得ることが難しい人に配布する声の広報を作成しています。

点訳奉仕員

障害により、見ることで情報を得ることが難しい人に点字で情報を伝えます。

いきいきと暮らせるように、いろいろな活動を支援できるように取り組みます（例）

要約筆記奉仕員

障害により、聞くことで情報を得ることが難しい人に情報を要約して文字にして伝えます。

手話奉仕員

手話を言葉とする障害のある人に、手話を使って情報を伝えます。

生活協力員

知能の発達に遅れがある人や子どもの見守りや必要な支援をします。

どのようなことが書かれていますか？（計画の内容）

第1期平群町障害児福祉計画

目標の内容	今の様子	目標
障害のある子どもをいろいろな面から支援できる所	なし	つくります
重い障害のある子どもの発達の支援などを行う事業所	なし	つくります
家で暮らしながら医療の処置を行っている障害のある子どもの支援をいろいろな人が考える場	なし	つくります

(例)

児童発達支援

しょうがっこう にゅうがく
小学校に入学する
までの発達支援を
します。

放課後等

デイサービス

しょうがっこう こうこう
小学校から高校まで
の発達支援をしま
す。

保育所等

訪問支援

えん がっこう
こども園や学校など
の集団生活の支援を
します。

- サービスの内容についての情報を広めます。
- サービスを行う事業所とスムーズに連絡できるようにします。
- 福祉サービスを利用する時の目標や計画を支援してくれる事業所を利用する人が増えるように進めます。



けいかく 計画をしっかりと進めていくために、次
のことをします。

- 計画に書いている取り組みを進める役場内の部署や関係する事業所に進みぐあいを確認したり、話し合いをします。
- 平群町の障害福祉についての取り組みを考える会議で、計画全体についての進みぐあいを確認したり、話し合いをします。
- 取り組みをはじめて、3年後の平成32年度に、計画の進みぐあいをみて、必要があれば、計画を作り変えます。

へいせい ねん がつはっこう
平成30年3月発行

へんしゅう はっこう へぐりちょうやくば ふくしか
編集・発行 平群町役場 福祉課

〒636-8585 奈良県生駒郡平群町吉新1-1-1

〈電話〉 0745-45-5872 〈ファックス〉 0745-45-0100

〈ホームページ〉 <http://www.town.heguri.nara.jp/web/index.html>

きょうりよく おんやく ろくおん すず ね てんやく てんやく
協力 〈音訳〉 録音グループ 鈴の音 〈点訳〉 点訳サークル どんぐり